



学びの庭

甲府市立甲運小学校
学校だより第9号
平成30年11月26日
(文責：勝村 正樹)



季節は晩秋から初冬へ

いよいよ2学期まとめの時期12月に入ります

高村光太郎さんの『冬が来た』の詩の中に、「公孫樹（イチヨウ）の木も箒（ほうき）になった」という一節があります。まさにこの言葉のとおり、学校へと続く通学路の木々も葉を落とし、冬支度に取りかかっています。厳しい暑さの夏に「早く冬になれ」と言っていた子どもたちも「冬より夏のほうが」と思い始めているかもしれません。

寒さの厳しくなる冬は、やがて来る春への大切な準備の時期であることを子どもたちに伝えながら、2学期のまとめをしっかりとさせていきます。保護者、地域のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

どう変わる？どう変える！特別の教科「道徳科」 「英語科」授業は再来年度から本格実施

「今日の道徳では、どうしたら相手を分かってあげられるだろうということについて考えていきます。」4年2組担任の武藤直子教諭が子どもたちに向かって語りかけます。

道徳が教科となって1年目の今年度、本校でも道徳科の授業を通して研究を進めてきました。

「考え、議論する道徳」授業の実現

導入では、普段の自分の考えや言動について振り返り、「どうしてずるい心が出てしまうのだろう」「命を大切にすることはどういうことだろう」などのように、



自己の生き方（考えや言動）について、一人一人が課題意識をもつようにします。その上で、教材に出会い、教材の登場人物の

生き方について「どうしてそう（道徳的行為を）できたのかな」と疑問を感じたり、「自分もそういう思いをしたことがあるな」と共感したりしながら、みんなでよりよい生き方について話し合い、自分の思いを語り合っ、自己の生き方についての課題の答えを探していくのです。道徳科の授業について、ご家庭でも話題にさせていただけるとありがたく思います。

再来年度、5・6年生の教育課程には「英語科」の授業が加わります。授業時数は、年間70時間です。また、3・4生にも、年間35時間の外国語活動が入ってきます。この改訂を見越して、本校でもこれまで行われてきた教育課程を見直し、新しい教育課程編成に向けた準備が進められています。



甲運地区歴史探訪実施

11月4日（日）に開府500年記念行事「甲運地区歴史探訪」が行われ、200人以上の甲運地区の方々川田地区の史跡を巡りました。

＜参加した子どもたちの感想から＞

- ・甲運地区には、武田信玄にまつわる史跡がたくさんあることが分かりました。一番よかったのは、三つ又の水路を近くで見ることができたことです。いろいろ勉強になりました。クイズも全問正解でした。（6年：小澤晃太さん）
- ・三つ又が一番印象に残りました。一度見たことがあったけれど近くで見たこ

とは初めてだったのでよかったです。クイズがあって楽しく巡ることができました。（6年：今井莉子さん）

- ・授業で行った史跡もありましたが、その時は急いでいたので、看板の説明書きなどをしっかり読むことができませんでした。今回は、読む時間があって詳しく知ることができてよかったと思います。三つ又も近くで見ることができてよかったです。

（6年：佐野暁太郎さん）



煙の怖さを知ろう

火災を想定した避難訓練実施

11月21日(水)に火災を想定した避難訓練を行いました。子どもたちは、煙を吸い込まないようにマスクをかけて真剣な面持ちで校庭に避難しました。

私は今回の避難訓練で、「火災による煙の怖さ」を伝えようと決めていました。

◎火災時の煙の怖さ

火災時の煙の広がる速さは、無風状態では遅く、人の歩く速さの方がかなり速いと言われます。では、なぜ逃げ遅れて煙に巻かれることになるのでしょうか。

火災初期の煙は10cm程度の厚さで天井に張り付くように流れ、出口の方向に広がっていきますが、人間はこの煙を見てもほとんど恐怖を感じないため、見過ごしてしまいます。しかし、時間が経つにつれそれまで天井に張り付いていた煙が床の方に一斉に降りてきます。このため



非常口や逃げる方向が瞬時にして見えなくなるのです。ですから、煙が天井に張り付いているうちに避難しないと逃げ遅れてしまうのです。また、ゆっくり拡がって

いた煙は、階段付近まで来ると急変し、すごい速さで階段を上昇します。階段を使って避難するための重要なポイントは、階段室に煙を入れないようにすることです。

「早稲田大学理工学術院総合研究所 工学博士 神忠久氏」より

いざというとき「自分の命は自分で守る」という教えを日頃からご家庭でも子どもたちにぜひ話しておいてください。学校でもさらに防災教育に力を入れていきます。

わいわいフェスティバル大成功

11月22日(木)に児童会主催の「わいわいフェスティバル」が開かれました。いつもにも増して子どもたちの生き生きとした姿を見ることができました。老人クラブ、桜井寮、春風寮の方々にもご参加いただき大いに盛り上がりました。保護者の皆様にもご来校いただきありがとうございました。



正門隣に冬のオブジェ登場

佐々木啓一技能員が学校正門横に冬を迎えるにふさわしいオブジェを作ってくれました。匠の技をぜひご覧ください。



心がほっとスマイル

- ある日、1年生の給食の様子を見に行った時のことです。一人の男の子が私を見かけると手を振ってくれました。私もすかさず手を挙げて応えました。すると、手を振る子どもたちが次々と増えていき、「こんなにも私に手を振ってくれるクラスは他にはないかもしれません。」と言うと、今度は一斉に手を振り始めました。中には両手で手を振ってくれる子もいました。給食の妨げになってはと思い、私は少し慌てながら「たくさん手を振ってくれてありがとうございます。」の言葉を残し、その場を離れたのでした。

- 校長室を訪ねてきたお客様を見送ったことがありました。雨が降り始めていたのですが、急いでいたので傘も差さず外に出ました。お客様をお送りした後中に入ろうとすると、「校長先生、雨に濡れてしまいますよ。」と言いながら傘を差し出す女の子がいます。見ると「ぶどっこさん」に行く途中の2年生でした。折角の厚意を無にしてはと思い、一緒に傘に入り、少し進んだところでその子に、「助かりました。」と言いながら傘を返しました。この優しさに私の心は「ほっとスマイル」でした。



- 11月23日(金)に横根地区の美化活動に参加した時のことです。甲運中央共選場前から山の手に向かってごみ拾いを行いました。地区の大人の方々や交じって大勢の甲運小の子どもたちも参加しました。最終場所である八幡神社に着くと、たくさんの落ち葉がありました。1年生が熊手を取り「ここ掘れワンワン」と言いながら葉っぱを集めていくと、6年生もそのかけ声に合わせて「ここ掘れワンワン」。みるみるうちにきれいになっていきます。そのかけ声が楽しくて私も一緒に葉っぱを集めました。

